

速報

2025年度 前年度より予算アップ ↑ 住宅省エネキャンペーン

大型 補助金 が
閣議 決定

予算額
4,230億円

目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上に資する措置や高効率給湯器の導入など、新築住宅の省エネ化や、既存住宅の省エネリフォームへの支援を強化することが必要。国土交通省、経済産業省及び環境省は、3省の連携により、「省エネ住宅の新築を支援する補助制度」「既存住宅の省エネリフォームを支援する補助制度」のそれぞれについて、各事業を組み合わせることで利用すること（併用）を可能とする。

子育てグリーン住宅支援事業【新築（注文住宅・分譲住宅・賃貸住宅）】

対象	対象条件	補助額	
予算	1,850億円		
すべての世帯	GX志向型住宅 【要件】下記の①、②及び③にすべて適合するもの ①断熱等性能等級「6以上」 ②再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費量の削減率「35%以上」 ③再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費量の削減率「100%以上」 →対象条件の詳細につきましては国土交通省のHPをご確認ください。	160万円/戸	
子育て世帯	長期優良住宅	建替前に居住していた住宅等を除去する場合	100万円/戸
		上記以外	80万円/戸
	ZEH住宅	建替前に居住していた住宅等を除去する場合	60万円/戸
		上記以外	40万円/戸

※ 「18歳未満の子を有する世帯（子育て世帯）」又は「夫婦のいずれかが39歳以下の世帯（若者夫婦世帯）」

3省連携 省エネルギーリフォーム補助事業

	①先進的窓リノベ	②給湯省エネ2025事業 ③賃貸集合給湯省エネ2025事業	④子育てグリーン住宅支援事業 (リフォーム)	
予算	1,350億円	630億円	400億	
対象者	世帯を問わず対象工事を実施するリフォーム ※賃貸集合給湯省エネ2025事業を除く			
工事内容	省エネ改修			その他工事 (省エネ改修とあわせて行う リフォーム工事のみ)
	1) 高断熱窓の設置	2) 給湯器	3) 開口部・躯体等の省エネ改修工事	
補助対象	高性能の断熱窓	②高効率給湯器 ③エコジョーズ/ エコフィール	既存住宅の省エネ改修	住宅の子育て対応改修など
補助額 ※リフォーム	最大200万円/戸	②最大20万円/台 ③最大7万円/台	最大60万円/戸	



詳細

対象	対象条件		補助額
取得者が施工者に発注する リフォーム	①Sタイプ	必須工事3種の全てを実施	最大60万円/戸
	②Aタイプ	必須工事3種のうちいずれか2種を実施	最大40万円/戸

【必須工事※】
断熱改修はZEH水準のみ

- ①開口部の断熱改修
- ②躯体の断熱改修
- ③エコ住宅設備の設置

【附帯工事】
子育て対応改修
バリアフリー改修
空気清浄機能・換気機能付き
エアコン設置工事等

※必須工事1種のみの実施では対象外

※掲載内容には変更の可能性があります。詳細につきましては国土交通省のHPをご確認ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001249.html

発行日：12月4日